

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
アウトリーチ活動報告書2024



INDEX

■ 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■ 名大カフェ “Science , and Me”	3
■ 名大研究フロントライン（note、ポッドキャスト、研究紹介動画）	7
■ あいちサイエンスフェスティバル（ASF）2024 サイエンストーク	11
■ ASF2024 その他、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	13
■ 名古屋大学オープンレクチャー 2025	15
■ 松坂屋小学校 キッズサイエンス@サカイ	17
■ 名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム「みらいメッセージ」	18
■ Tokai Open Innovation Complex（TOIC）	19
■ 産学連携セミナー、シンポジウム等、展示会への出展実績	21

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部では、本学研究者の研究活動や成果を社会へ発信することを通じ、研究者と社会をつなぎ、研究活動への社会的理解と関心を高めるため、各種のアウトリーチ活動を実施しています。

今年度も、イベント開催やオンラインプラットフォームを通じて、本学の研究活動・成果の発信に取り組みました。URA と研究者とのコミュニケーションを通じてアウトリーチの方法や伝える内容をよく吟味することで、研究者にとっても、参加者／視聴者にとっても満足度の高い活動になるよう、努めています。

今年度の新しい取り組みとして、毎年春分の日に開催している「名古屋大学オープンレクチャー」の開催方法をリニューアルしました。これまで、参加者は複数の講義の中から1つを選んで受講する方式でしたが、今年度からは講義時間の見直し等により、参加者がすべての講義を受講できる方式としました。これにより、参加者が多様な研究分野に触れて本学の研究活動の広がりを知るとともに、高校生等の進路選択への一助となることを期待しています。

また、昨年5月、東海国立大学機構に産学融合拠点「TOIC (Tokai Open Innovation Complex)」が設置され、本学に TOIC 名古屋サイトがオープンしました。これを受け、今回の報告書からは TOIC 名古屋サイトで開催した産学交流イベントの記録も記載しています。TOIC のイベントは、主に企業関係者や起業を志す人を対象としており、一般的なアウトリーチ活動とは目的が異なりますが、学術研究・産学官連携推進本部が取り組む成果普及活動の一環としてご覧いただけますと幸いです。

今後も研究成果の発信と社会対話を通じて、学術研究の発展と産学官連携推進に取り組んでまいります。

2025年3月



名古屋大学副総長／
学術研究・産学官連携推進本部長
佐宗 章弘

名大カフェ

SCIENCE, AND ME

オンライントークイベント



第 103 回名大カフェ「中世建築を研究するービザンティン建築を調べ、記録する」(オンライン)

日時：2024年5月9日(木) 19:00~20:15
 ゲスト：樋口 諒 (名古屋大学高等研究院 / 大学院人文学研究科 YLC 特任助教)
 方法：オンライン (Zoom ウェビナー)
 主催：Common-S. サカイ大学 (運営：松坂屋名古屋店)
 協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

ハギア・ソフィアに代表されるビザンティン建築を「探し、記録し、分析する」一連の研究プロセスが紹介されました。工夫を凝らしたフィールド調査やデジタル技術を駆使した分析で、過去が解き明かされていく過程に魅了されました。



第 105 回名大カフェ「次世代の健康も守りたいー私たちの健康を左右する社会的決定要因とは？」(オンライン)

日時：2024年7月5日(金) 19:00 ~ 20:15
 ゲスト：永吉 真子 (名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学 講師)
 方法：オンライン (Zoom ウェビナー)
 主催：Common-S. サカイ大学 (運営：松坂屋名古屋店)
 協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

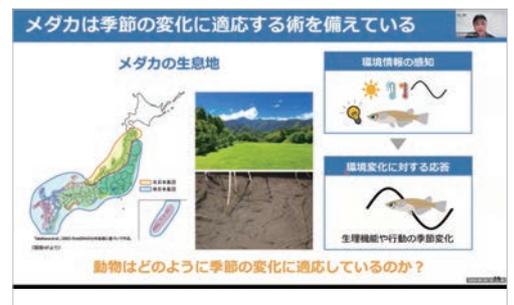
私たちの「健康」が社会経済的な状況などに大きく影響を受けて決定されることをお話いただきました。“健康の社会的決定要因”をキーワードとして次世代の健康を守るための戦略を皆で考える会となりました。



第 107 回名大カフェ「メダカの巧みな生存戦略～季節の変化に適応するしくみ～」(オンライン)

日時：2024年8月29日(木) 19:00~20:15
 ゲスト：中山 友哉 (名古屋大学 高等研究院 / 大学院生命農学研究科 YLC 特任助教)
 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
 主催：Common-S. サカイ大学 (運営：松坂屋名古屋店)
 協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

メダカが季節の変化に適応するしくみについてのお話でした。メダカは季節を感じて生殖腺のサイズを変えるだけでなく、冬には「うつ病」のような状態になるようです。とても賢いメダカの生存戦略に脱帽でした。



名大研究者をゲストに、研究にまつわる話題をお届けするイベントです。

オンラインまたはオンサイト (@名古屋大学) で開催しています。オンラインの回は、松坂屋名古屋店との連携企画です。



第 109 回名大カフェ「がんとのいたちごっこはなぜ起こる？—根源に潜むがんの強靱な生存戦略—」(オンライン)

日時：2024年10月4日(金) 19:00~20:15

ゲスト：加藤 真一郎 (名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学 助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

共催：協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

がんの耐性や再発の種となるモノを突き止めた上で、創薬の研究につなげるがん研究の最前線のお話でした。お話を聞いた後、がんとの戦いに光が見えた参加者の方が増えたことは、とても印象的でした。



第 111 回名大カフェ「イネのかたちと収量をつかさどる遺伝子の秘密」(オンライン)

日時：2024年12月20日(金) 19:00~20:15

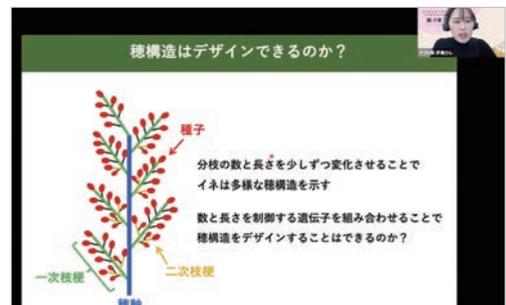
ゲスト：縣 歩美 (名古屋大学大学院生命農学研究科 助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

世界的に主要な作物であるイネの穂のかたちを決める遺伝的な機構を、お米愛に溢れる縣先生にお話いただきました。参加者も興味津々、質問を多数いただき、イネの研究の最前線に触れることができました。



第 113 回名大カフェ「宇宙でいちばん元気な銀河のはなし」(オンライン)

日時：2025年2月28日(金) 19:00~20:15

ゲスト：梅畑 豪紀 (名古屋大学高等研究院 / 大学院理学研究科 YLC 特任助教)

会場：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

銀河研究とは何か？モンスター銀河とは何か？について、最新の銀河の映像と共にお話いただきました。最新の望遠鏡を用いた美しい映像に見惚れると共に、ダークマターと銀河の関係性にも想いを馳せる時間になりました。



SCIENCE, AND SM_E



第 104 回名大カフェ「AR× 感染症： “AR グラスを活かした、イカした感染症対策コンテンツ”は、名大から生まれるのか _____!？」

日時：2024 年 6 月 3 日 (月) 18:00～20:00

ゲスト：岩波 翔也 (名古屋大学大学院理学研究科 講師)、
高 天夫 (XREAL JAPAN product manager・製品課長)

会場：名古屋大学 NIC 館 1 階 Idea Stoa

共催：名古屋大学 理学研究科理学専攻 異分野融合生物科学研究室
(iBLab)、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

エンタメ利用のイメージが強い AR (拡張現実) グラスを感染症予防に活用する未来を議論しました。最新の AR を実際に装着する中で、パンデミック時の活用に加え、倫理的課題についても活発な意見交換が行われました。



第 106 回名大カフェ「炭素でつくる太陽電池」

日時：2024 年 7 月 26 日 (金) 18:00～19:30

ゲスト：松尾 豊 (名古屋大学大学院工学研究科 教授)

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

世界初の太陽電池の技術や産業への応用可能性が紹介されました。オープン間もない産学融合拠点 TOIC に幅広い世代の市民が集まり、持続可能な社会実現に向けた炭素の可能性と挑戦について熱い議論が繰り広げられました。



第 108 回名大カフェ「ちょっぴり数奇 (すき) で乙 (オツ) な研究の眺め方」

日時：2024 年 9 月 7 日 (土) 15:00～16:30

ゲスト：飯田 敦夫 (名古屋大学 大学院生命農学研究科 助教)

会場：ワインバー「ボクモ」(名古屋市中区)

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

研究成果の報道と論文発表の違いを、生物学の研究を例に比較。科学情報の伝え方の特徴や、受け取る際の注意点を考察しました。参加者同士の距離が近く、美味しいお酒と食事も手伝い、活発な意見交換が行われました。



名大カフェ・対面



第 110 回名大カフェ／サイエンスアゴラ 2024 「サイエンス裁判所事件簿：ダークマター裁判のゆくえ」

日時：2024年10月26日（土）15:30～17:00

ゲスト：上松 健太郎（名古屋大学大学院法学研究科 准教授）、
北口 雅暁（名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 准教授）、
宮木 康博（名古屋大学大学院法学研究科 教授）

会場：テレコムセンタービル（東京都江東区）

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部、名古屋大学 法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム（PSIM コンソーシアム）

宇宙貨物船の航路変更を巡る民事訴訟を模擬裁判形式で行い、科学的知見と法的解釈の交錯を体験。参加者は原告・被告の代理人や傍聴人として議論に参加し、科学と法の関係性を深く学びました。



第 112 回名大カフェ 「形だけじゃない！金属 3D プリンターが生み出す未来材料」

日時：2025年1月31日（金）18:00～19:30

ゲスト：高田 尚記（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

金属 3D プリンターが生む新たな材料特性について高田教授が解説。急速冷却で生まれる非平衡な金属構造に、参加者は驚きと関心を寄せました。トーク後も活発な質問が飛び交い、研究の可能性に会場は熱気に包まれました。



名大研究フロントライン

(note、ポッドキャスト、研究紹介動画)



タイトル	紹介した研究者 (名古屋大学)	配信日
プレスリリース連動 / 最新研究がもっとよくわかる！シリーズ		
📖 AI 集団 1000 世代がジレンマゲーム？性格進化は何を語るか	鈴木 麗聖 (情報学研究科 准教授)	2024/3/19
📖 樹上と地上、どちらがカエル (孵る) ?	市岡 幸雄 (生命農学研究科 博士後期課程)	2024/4/10
📖 心を記録するー長野のニホンミツバチ文化に出会った民俗学研究者の話	甘 靖超 (人文学研究科 准教授)	2024/4/12
📖 訓練不要！たった3ステップで怒りを鎮める方法を開発	川合 伸幸 (情報学研究科 教授)	2024/4/18
📖 お家でかぶるだけ！新たなうつ病治療装置を開発中	稲田 俊也 (医学系研究科 特任教授)、 立花 昌子 (医学系研究科 病院助教)、 伊藤 美佳子 (医学系研究科 講師)	2024/4/24
📖 レンズの精度を極めろ！X線顕微鏡に魅せられた研究者達	松山 智至 (工学研究科 教授)、 井上 陽登 (工学研究科 助教)	2024/5/15
📖 速いもん勝ちじゃない、成功するオスの意外な戦略を可視化	水多 陽子 (トランスフォーマティブ生命分子研究所 / 高等研究院 助教)	2024/5/22
📖 火山ガスを”縦に”測る	角皆 潤 (環境学研究科 教授)、 宮木 裕崇 (環境学研究科 博士前期課程)	2024/5/31
📖 コンクリートじゃない、コンクリーション化が地球を救う！?	吉田 英一 (名古屋大学博物館 館長 / 環境学研究科 教授)	2024/6/3
📖 電子の兄貴分「ミュオン」を加速して、研究者が本当に見たいもの	飯嶋 徹 (素粒子宇宙起源研究所 所長 / 教授)、 鈴木 一仁 (素粒子宇宙起源研究所 特任教授)、 鷲見 一路 (理学研究科 博士後期課程)	2024/7/8
📖 「なんか作るう！」から1年、西洋古典とAIのコラボがアツ〜く進行中	岩田 直也 (デジタル人文社会科学センター 准教授)	2024/7/12
📖 ノーベル賞から10年、今なお続く”二材料物語”にミステリアスな展開	天野 浩 (未来材料・システム研究所 教授)、 王 嘉 (高等研究院 / 未来材料・システム研究所 YLC 特任助教)	2024/7/30
📖 羽音の音色を聞き分ける蚊の繁殖戦略	上川内 あづさ (理学研究科 / ITbM 教授)、 Matthew Paul Su (理学研究科 特任助教)	2024/8/8
📖 「もったいない」からナノサイズの穴を開ける…!?	山内 悠輔 (工学研究科 教授 / 卓越教授)	2024/8/20



note



ポッドキャスト
(spotify)



Youtube

	タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
 	ジャガイモの「免疫」を活性化！農薬を使わない新たな疫病菌対策の可能性	竹本 大吾（生命農学研究科 教授）	2024/8/27
 	遺伝子ビッグデータが明かす、赤くなるのに飲める人の不思議	中柄 昌弘（医学系研究科 准教授）	2024/8/29
 	金属ナノワイヤ、イオンビームより原理を極めたい	木村 康裕(工学研究科 助教*現・九州大学 准教授)	2024/9/27
 	抑制と興奮のバランスが重要です～音の識別能力のナゾ～	上川内 あづさ（理学研究科／ITbM 教授）、 井本 圭亮（理学研究科 博士後期課程）	2024/9/30
 	「世界をベクトルで表現したい」——OpenUAS が描く都市の新たな姿	河口 信夫（工学研究科 教授）	2024/10/2
 	見たことない！磁気式、非接触で動くネジ誕生	部矢 明（工学研究科 准教授）	2024/10/3
 	筋肉の三次元培養に見惚れました～工学技術を用いた食品成分の機能評価～	清水 一憲（工学研究科 准教授）、 永井 研迅（工学研究科 博士後期課程／サントリーウエルネス株式会社研究員）	2024/10/9
 	魅惑的な分子の子カラを伝えたい！！～MoleQrious!の活動～	三宅 恵子（WPI-ITbM 特任講師）／ MoleQrious！メンバー	2024/10/10
 	大学が裁判ドラマ制作？弁護士教員が語るその舞台裏とは	上松 健太郎（法学研究科 准教授／実務家教員）	2024/10/15
 	無限の可能性！蛍光入りの構造色	竹岡 敬和（工学研究科 准教授）、 何 佳磊（工学研究科 博士後期課程 *現・上海交通大学医学院虹橋国際医学研究院 助手研究員）	2024/11/12
 	静かなるキナーゼ、その働きとは？	竹藤 幹人（医学系研究科 講師）、 吉田 聡哉（医学系研究科 博士後期課程）	2024/11/18
	分子の「真の姿」を見る瞬間に挑む	澤 博（工学研究科 教授）、 原 武史（工学研究科 博士後期課程）	2024/11/28
 	5月のオーロラ前日、「ただ事ではない」太陽嵐を捉えた名大観測システムの実力とは	岩井 一正（宇宙地球環境研究所 准教授）	2024/11/29
 	40Hzって何かある！？触覚刺激の効果とは？	鈴木 泰博（情報学研究科 准教授）	2024/12/19
	植物の「口」を減らした生物学と化学の力	中川 彩美（WPI-ITbM 研究員）	2024/12/20
	へびはなぜ怖い？	川合 伸幸（情報学研究科 教授）	2024/12/23
 	勇住邁進！大豆が心臓を守る研究とは？	古川 希（医学系研究科 助教）	2024/12/24

名大研究フロントライン

(note、ポッドキャスト、研究紹介動画)



note は、名大の最近の研究の話題を、柔らかめのトーンの読みものでお届けします。

タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
魚を釣る魚の「釣り竿」が、驚くほど変だった	山本 直之（生命農学研究科 教授）	2025/1/7
回転 ×AI でピンボケを消す？新しいX線顕微鏡技術の誕生	松山 智至（工学研究科 教授）	2025/1/15
ゼロからの挑戦、ガチで切り拓く心不全治療の未来	竹藤 幹人（医学系研究科 講師）、 吉田 達矢（医学系研究科 客員研究者）	2025/1/22
「助けて」といえない日本人…なぜ？	石井 敬子（情報学研究科 教授）	2025/1/29
がんを倒す最強戦士「CAR-T 細胞」をもりもり増やす方法とは？	寺倉 精太郎（医学系研究科 講師）、 安達 慶高（医学系研究科 元大学院生）	2025/1/31
ナノスケールのシューティングゲーム？	星野 隆行（工学研究科 教授）	2025/2/20
“本当の”造血幹細胞とは？	古橋 和拡（医学系研究科 講師）	2025/3/3
根っこ堀り歴 20 年——地下世界への情熱が生む新しい防災のかたち	平野 恭弘（環境学研究科 教授）	2025/3/5
鳥かごの中に、おはぎ？アンモニアをより簡単に作れる「触媒」とは？	永岡 勝俊（工学研究科 / 未来社会創造機構 教授）	2025/3/12
ホタルのように作れないから	西川 俊夫（生命農学研究科 教授）、 加藤 まりあ（生命農学研究科 博士後期課程）	2025/3/21

イベントレポート 名大カフェ / ASF サイエンストーク / 産学連携ワークショップ

第 104 回名大カフェ「AR×感染症：“AR グラスを活かした、イカした感染症対策コンテンツ”は、名大から生まれるのか ____!?”	岩波 翔也（理学研究科 講師）、 高 天夫（XREAL JAPAN）	2024/6/24
第 106 回名大カフェ「炭素でつくる太陽電池」	松尾 豊（工学研究科 教授）	2024/8/7
産学連携ワークショップ「見て、つぶして、調べよう！名大温室で育てた砂糖イネ」	笠原 竜四郎（生物機能開発利用研究センター 特任准教授）、Prakash Babu Adhikari（生物機能開発利用研究センター 博士研究員）	2024/8/21
産学連携ワークショップ「植物の基礎体力 UP！企業と大学が共同開発した「バイオスティミュラント」を使ってみよう」	竹本 大吾（生命農学研究科 教授）、齋藤 信（株式会社レゾナック基礎化学品事業部新事業開発プロジェクトリーダー）	2024/8/26
第 107 回名大カフェ メダカの巧みな生存戦略～季節の変化に適応するしくみ～	中山 友哉（高等研究院 / 生命農学研究科 YLC 特任助教）	2024/9/10



ポッドキャストは、名大の最近の研究の話題を、音声だけでお届けします。ナレーション、インタビュー、学生との対話など、さまざまなスタイルのコンテンツで「大学の今」を感じてください。



さまざまな分野の基礎研究、応用研究、そして産学連携まで、見どころをギュギュッと詰めて、短い動画でご紹介。研究者たちが自ら語る熱い想いにご注目ください。

	タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
📖	第108回名大カフェ ちょっぴり数奇（すき）で乙（オツ）な研究の眺め方	飯田 敦夫（生命農学研究科 助教）	2024/9/14
📖	第109回名大カフェ がんとのいたちごっこはなぜ起こる？— 根源に潜むがんの強靱な生存戦略—	加藤 真一郎（医学系研究科 助教）	2024/10/18
📖	サイエンストーク「孤独・孤立をゼロ次予防—「ゆるやかなつながり」を先端技術でサポート」	米澤 拓郎（工学研究科 准教授）	2024/11/22
📖	第110回名大カフェ サイエンスアゴラ初！ 法廷企画「ダークマター裁判のゆくえ」	上松 健太郎（法学研究科 准教授）、北口 雅暁（KMI 准教授）、宮木 康博（法学研究科 教授）	2024/11/27
📖	第111回名大カフェ イネのかたちと収量をつかさどる遺伝子の秘密	縣 歩美（生命農学研究科 助教）	2024/12/28
📖	第112回名大カフェ 形だけじゃない！ 金属 3D プリンターが生み出す未来材料	高田 尚記（工学研究科 教授）	2025/2/17
📖	第113回名大カフェ 宇宙でいちばん元気な銀河のはなし	梅畑 豪紀（高等研究院 / 理学研究科 YLC 特任助教）	2025/3/11

みんなで作るフロントライン

📖	素粒子宇宙円卓会議 #11 初の公開収録「宇宙線 ミューオンで見えるものの姿とは」	森島 邦博（理学研究科 准教授）、KMISCT	2024/4/5
📖	赤い光も青い光も大事！ 植物の気孔開口に関わるしくみを解明！（インタビュー・文：ITbM リサーチプロモーションディビジョン）	林 優紀（理学研究科 助教）	2024/5/14
📖	素粒子宇宙円卓会議 #12 名古屋大学総長が求める研究のアリカとは…？	杉山 直（名古屋大学 総長）	2024/10/4

研究紹介動画

Vol.24 世界へ届けたいがん治療～安全・安価な CAR-T 細胞療法

紹介した研究者：高橋 義行（大学院医学系研究科 教授）（2024/8/6 公開）
 白血病などに高い効果を示す CAR-T 細胞療法は、保険適用の最先端治療として注目されています。しかし普及の壁となるのが、その高額な治療費。より安全で安価な CAR-T 細胞療法の実現を目指す、小児科医の取組を紹介しました。





あいちサイエンスフェスティバル2024



市民と専門家との対話イベント

サイエンストーク特別版「名大ものづくりの匠たち」

日時：2024年9月28日（土）13:30～16:30

ゲスト：豊田 浩孝（名古屋大学大学院工学研究科 教授／低温プラズマ科学研究センター 副センター長）、山内 悠輔（名古屋大学大学院工学研究科教授／名古屋大学 卓越教授）

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

名古屋大学が世界に誇るものづくり技術～「低温プラズマ」と「ナノ多孔体」について、2人の匠をゲストに、最新研究と社会応用の可能性を紹介しました。



愛知学長懇話会 SDGs 企画委員会「私たちの暮らしを支える大きな木の根っこ」（オンライン）

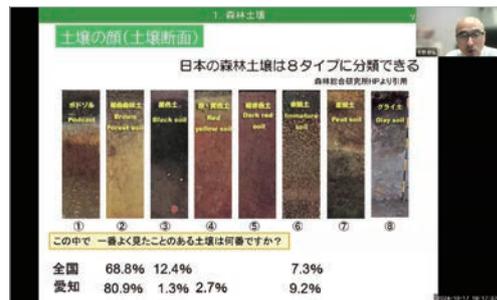
日時：2024年10月17日（木）19:00～20:00

ゲスト：平野 恭弘（名古屋大学大学院環境学研究科 准教授）

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

山崩れや倒木を防し、炭素を森に蓄えるなど、私たちの暮らしを支える木の根の世界を紹介しました。木は想像よりも浅く水平に広がるなど、知っているようで知らない根の不思議な世界を楽しみました。



図書館サイエンス夜話 第一夜「肥満は万病の元？」

日時：2024年10月30日（水）18:30～19:45

ゲスト：田中 都（名古屋大学 環境医学研究所 講師）

会場：鶴舞中央図書館 1階 第一集会室

主催：名古屋市鶴舞中央図書館

共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

ベージュ脂肪細胞など脂肪細胞の種類・機能や、肥満とは身体の中で何が起きているかをわかりやすく教えていただきました。肥満が様々な病気の引き金になることを知り、日々の生活を見直す機会となるお話でした。



「ゆるやかにつながる社会へ向けて ～情報+モビリティ技術で、できること」

日時：2024年11月12日（火）18:00～19:30

ゲスト：米澤 拓郎（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

孤独を社会で支える取り組みをテーマにしたイベントを開催しました。研究者の講演やディスカッションを通じ、孤独対策の最前線を学び、参加者同士の交流も深まりました。



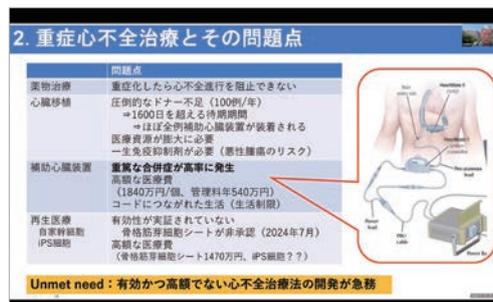
あいちサイエンスフェスティバルでは、サイエンストークを開催しています。
 はば広くサイエンスやものづくりの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。
 対象：中学生・高校生～一般



「心臓を守る新技術！オーダーメイド心臓ネットで難病治療」(オンライン)

日時：2024年11月15日(金) 19:00～20:00
 ゲスト：秋田 利明(名古屋大学医学部附属病院 心臓外科 特任教授)
 方法：オンライン (Zoom ウェビナー)
 主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

心臓の難病治療に用いる「オーダーメイド心臓ネット」の最新知見を紹介。最先端医療技術に関する専門的な内容が共有され、参加者同士で活発な意見交換が行われました。



図書館サイエンス夜話 第二夜「糖鎖ってなに？ ヒト糖鎖計画で生命の謎を解き明かす」

日時：2024年11月20日(水) 18:30～19:45
 ゲスト：郷 慎司(名古屋大学糖鎖生命コア研究所 特任准教授)
 会場：鶴舞中央図書館 1階 第一集会室
 主催：名古屋市鶴舞中央図書館
 共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

糖鎖とは何なのかという基礎的な部分から、どのような研究が行われているかというところまで幅広くお話をいただきました。質疑応答では多くの方から質問が寄せられ、参加者の好奇心を刺激する講座となりました。



「進化する皮膚疾患治療 —最新研究とその未来—」(オンライン)

日時：2024年11月21日(木) 19:00～20:00
 ゲスト：秋山 真志(名古屋大学大学院 医学系研究科 教授)、氏家 英之(北海道大学大学院 医学研究院 教授)、岩永 聡(長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科 助教)
 方法：オンライン (Zoom ウェビナー)
 主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

皮膚疾患治療の最新研究をテーマに名古屋大学、北海道大学、長崎大学の専門家が講演。参加者は最新知見に触れ、病名改定の重要性や治療の未来像について活発に意見交換が行われました。



「宇宙天気博士と話そう！ ～GPSを使って超高層大気を診る～」

日時：2024年11月23日(土) 15:00～16:00
 ゲスト：大塚 雄一(名古屋大学宇宙地球環境研究所 准教授)
 会場：名古屋大学 NIC1階 Idea Stoa
 主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

太陽フレアなどによるさまざまな宇宙天気現象のお話でした。子供から大人まで多くの参加者が宇宙天気博士と話をし、宇宙天気のナゾやその魅力に引き込まれ、あっという間の1時間でした。



あいちサイエンスフェスティバル2024

■夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2024

- ・会期：2024年7月20日（土）～9月1日（日）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

■あいちサイエンスフェスティバル 2024

- ・会期：2024年9月21日（土）～11月24日（土）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県、蒲郡市教育委員会
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク



産学連携ワークショップ「植物の基礎体力 UP！企業と大学が共同開発した『バイオスティミュラント』を使ってみよう」

日時：2024年8月8日（木）11:45～12:45

講師：竹本 大吾（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）、齋藤 信（株式会社レゾナック 基礎化学品事業部新事業開発 プロジェクトリーダー）

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

バイオスティミュラント「クロピコ®」をトマトの苗に使うデモを行いました。夏休み中の小学生やオープンキャンパスに訪れた高校生など多くの若者が集いました。研究者と企業担当者の解説を通して、成長への効果やそのメカニズムについて学びました。



産学連携ワークショップ「見て、つぶして、調べよう！名大温室で育てた砂糖イネ」

日時：2024年8月9日（金）①15:00～16:15 ②16:30～17:45

講師：笠原 竜四郎（名古屋大学生物機能開発利用研究センター 特任准教授）、Prakash Babu Adhikari（名古屋大学生物機能開発利用研究センター 博士研究員）

会場：名古屋大学 TOIC NAGOYA、

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

名大などの研究グループが開発中の砂糖イネから砂糖水を取り出し、その糖度を測定する実験ワークショップを行いました。食用にとどまらず、バイオ燃料としてエネルギー問題にも貢献する可能性まで議論が膨らみました。



集まれ！未来の科学者たち

日時：2024年10月6日（日）11:00～16:30

講師：サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）、名古屋大学博物館

会場：イオンモール常滑（サウスコート）

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

愛知県協力により毎年イオンで開催する恒例イベント。今年はいオンモール常滑にて「サイエンスワールドショー」と「出張！名大博物館」を催しました。多くのお客様がサイエンスを楽しみました。



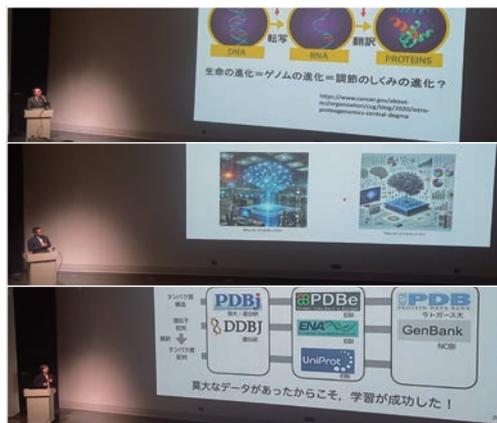
2024年ノーベル賞からみる最新研究講演会

日時：2024年12月8日（日）13:30～16:30

講師：鈴木 洋（名古屋大学大学院医学系研究科 教授）、竹内 一郎（名古屋大学大学院工学研究科 教授）、太田 元規（名古屋大学大学院情報学研究科 教授）

会場：名古屋市科学館 生命館地下 2 階サイエンスホール（あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室内）、主催：愛知県、名古屋市、名古屋大学

2024年ノーベル賞を授賞した科学3賞の解説と最新研究を紹介する講演会を、愛知県・名古屋市・名古屋大学の共催で開催しました。各授賞研究分野に精通した名古屋大学の研究者らが、各研究の概要と授賞者の貢献を解説した後、講演者自身の最新研究についても紹介しました。参加者から熱心な質問も寄せられ、ノーベル賞への理解を深めるとともに、今後の研究や社会への応用にも期待が膨らむ講演会となりました。



あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2024

主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

「動物のからだを彩るしくみ」

日時：2024年11月3日（日・祝）14:30～16:00

講師：橋本 寿史（リージョナルフィッシュ株式会社（前名古屋大学 講師））

会場：豊橋市自然史博物館 講堂

メダカの色素細胞の研究から分かったことを中心に、動物の体の色を司る仕組みについて紹介してもらいました。



「小惑星探査機はやぶさ2の冒険」

日時：2024年11月16日（土）14:30～16:00

講師：櫻井 郁也（名古屋大学シンクロトン光研究センター 特任准教授）

会場：豊橋市自然史博物館 講堂

小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」から採集した岩石を分析してわかったことを紹介してもらいました。



「昆虫ともっと小さな生き物の不思議な関係」

日時：2024年11月23日（土・祝）14:30～16:00

講師：土岐 和多瑠（名古屋大学大学院生命農学研究所附属フィールド科学教育研究センター 講師）

会場：豊橋市自然史博物館 講堂

カミキリムシやクワガタムシなどの昆虫の体の中に生息している微生物と、それらと昆虫との共生関係について紹介してもらいました。



「目には見えない宇宙のひみつ～宇宙の暗黒成分～」

日時：2025年3月23日（日）13:30～14:30

講師：嵯峨 承平（名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 特任助教）

会場：豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館

宇宙空間に広がる暗黒成分のナゾについてのお話でした。宇宙好きな小学生から大人の多くの方が集い、研究者手作りのペーパークラフトを通じて新しい知見に触れました。目を輝かせて聞き入る参加者の皆さまの姿が印象的でした。



名古屋大学 オープンレクチャー 2025

大学の研究って何!? 研究者ってどんな人!? さまざまな分野で活躍する名古屋大学の研究者が、自身の「知りたい!」を追求し、人生をかける研究について話しました。

対 象 : 中高校生・一般

会 場 : 名古屋大学 東山キャンパス
(理学南館 坂田・平田ホール)

開催日 : 2025年3月20日(木・祝)
13:00 ~ 16:30 名古屋大学紹介、レクチャー
※プログラムの変更がありました

レクチャー一覧 :

- ・「植物の「口」を減らしたり増やしたりするはなし」
講師 : 中川 彩美 (トランスフォーマティブ生命分子研究所 研究員)
- ・「未来の医療を切り拓く—子どもの病気と最先端研究—」
講師 : 村松 秀城 (大学院医学系研究科 准教授)
※中止になりました
- ・「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の治療薬研究のはなし」
講師 : 横井 聡 (大学院医学系研究科 准教授)
- ・「トポロジーの物質科学 : 大学での学びと学問の融合」
講師 : 阿波賀 邦夫 (大学院理学研究科 教授)



あいさつ・大学の研究紹介

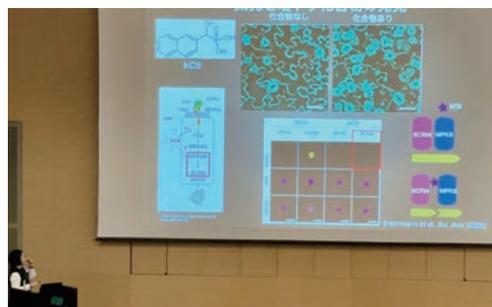
学術研究・産学官連携推進本部長からの挨拶で始まった本イベント。普段触れることのない大学の研究を、研究者の生の声で体感してほしいと語りかけました。続く URA による名古屋大学の研究紹介では、大学院生からベテラン研究者まで、多彩でユニークな研究を展開し、「知の創造」を通じて社会への貢献を目指していることを紹介しました。



「植物の「口」を減らしたり増やしたりするはなし」

講師：中川 彩美（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 研究員）

植物が環境とどのように関わるかを示す「気孔」の研究について紹介。生物と化学の融合研究の視点から、気孔の数を増減させる技術を解説し、応用可能性にも触れました。参加者へのクイズを交え、科学の探究過程を実感できるレクチャーとなりました。



「筋萎縮性側索硬化症（ALS）の治療薬研究のはなし」

講師：横井 聡（名古屋大学大学院医学系研究科 准教授）

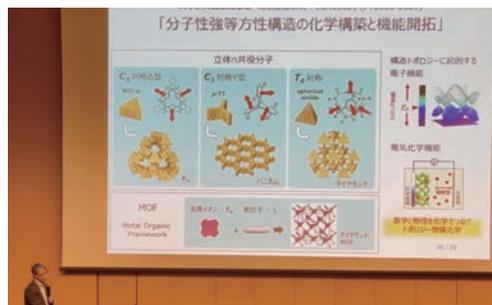
ALS の基礎知識から進行中の治療薬研究について、神経内科医の視点から解説。RNA 結合タンパク質異常の発見を軸とした研究が紹介されました。医師として患者さんと向き合う中で、未だ治療薬がない病気に挑む研究の意義を強調しつつ、「好きなことを続け、失敗を恐れない」という中高生参加者へ向けたメッセージで締めくくりました。



「トポロジーの物質科学：大学での学びと学問の融合」

講師：阿波賀 邦夫（名古屋大学大学院理学研究科 教授）

対称性を持つ分子や結晶構造を用いて従来とは異なる性質の物質をつくる「トポロジー物質科学」の研究を紹介。分子構造によって新しい電気特性や化学特性が生まれる面白さが紹介されました。こうした研究が異分野の融合から生まれることを示し、学問の本質についても考察。人類の進化の歴史にも触れ、大学で学ぶ意義を自分ごととして考えさせるレクチャーとなりました。



＜松坂屋小学校＞ キッズサイエンス@サカエ

主催：CommonS, サカエ大学（運営：松坂屋名古屋店）
協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク、他

～未来の科学者をはぐむために～



第 28 回キッズサイエンス「名古屋大学の田んぼに行こう♪ ～田植えを体験し、米作りを学ぼう～」

日時：2024年5月26日（日）10:00～12:30

講師：村瀬潤（名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター教授）、
アンドレス・マツナ（名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻 准教授）

会場：名古屋大学 フィールド科学教育センター東郷フィールド

名古屋大学東郷フィールドで、小学生親子が稲作りを学びました。農学研究者、農場のスタッフ、学生らのサポートのもと、田んぼに入って田植えを体験。今秋の収穫を目標に、家で栽培できるバケツイネも作りました。



第 30 回キッズサイエンス「ゴムの力で走れ！ 紙パッカー」

日時：2024年10月19日（土）

①10:30～11:00、②11:30～12:00、③13:30～14:00

講師：中部大学科学物理実験会

会場：松坂屋名古屋店 本館 5階キッズルーム

中部大学の学生を講師に、ゴムの力で走る「紙パッカー」づくりワークショップを開催しました。ゴムの伸び縮みする力や、すべり止め効果などについても説明し、科学と工作の両面から楽しめるイベントでした。



第 31 回キッズサイエンス「バーチャル・リアリティでケニアと名古屋をつなごう！」

日時：2024年11月23日（土）13:00～14:30

講師：米澤拓郎（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）、
レイト・エマニエル（名古屋大学大学院工学研究科 講師）

会場：名古屋大学 NIC 館 1F Idea Stoa

VR 技術を活用し、ケニアの大草原に生息する動物たちとの触れ合いを子どもたちが体験。講師や学生の情熱が伝わり、会場は笑顔と驚きで包まれました。リアルな体験が学びと楽しさを融合させ、多くの感想が寄せられました。



第 32 回キッズサイエンス「小型飛行船を飛ばそう」

日時：2025年1月5日（日）13:00～16:00

講師：岡本 渉（日本飛行船学会（準備会））

会場：松坂屋名古屋店南館 8階マツザカヤホール

アルキメデスの原理を学び、小型飛行船を飛ばすイベントを開催。子どもたちはスカイランタン作りやドライバーを使った浮力実験に挑戦し、飛行船の操縦にも夢中に！驚きと笑顔があふれる、楽しい科学体験となりました。



第 33 回キッズサイエンス「身近なもので防災に役立つグッズをつくろう 新聞スリッパと紙食器づくり」

日時：2025年3月23日（日）①10:30～11:15、②13:00～13:45

講師：名古屋市港防災センター

会場：松坂屋名古屋店 本館 5階キッズルーム（キッズパル）

災害時に水の節約に役立つ紙食器と、足を保護できる新聞スリッパを、講師のお話を聞きながら、親子で楽しく作りました。最後に新聞スリッパをはいて足つぽマットに乗ってみると、想像以上のクッション性を体感できました。



名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム 名大ハカセからの「みらいメッセージ」

～暮らしの中でできる「持続可能な未来社会」に向けたアクションについてのコラム～

第5回「名古屋大学の田んぼに行こう♪～田植えを体験し、米作りを学ぼう～」

COLUMN | 世界に広がる米作りと「土壌」の可能性～SDGs 13 気候変動に
具体的な対策を・SDGs 1 貧困をなくそう・SDGs 2 飢餓をゼロに～

先生：村瀬 潤（名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター 教授）、
アンドレス・マツラナ（名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻 准教授）
(2024.08.20 公開)



第6回「豊田スタジアムバックヤードツアー」

CROSS TALK | 豊田スタジアムから考える地域貢献～SDGs 3 すべての人に健康と
福祉を・SDGs17 パートナースHIPで目標を達成しよう～

先生：田村 誠（株式会社豊田スタジアム 代表取締役社長）、
佐々木 康（名古屋大学総合保健体育科学センター体育科学部 教授）、
猪股 康博（公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパワ競技大会組織委員会 事務局次長）
(2024.09.30 公開)



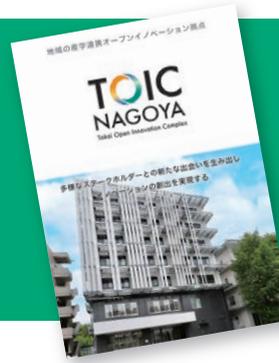
第7回「バーチャルリアリティでケニアと名古屋をつなごう」

COLUMN | 情報技術から広がるさまざまな可能性
～SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう～

先生：米澤 拓郎（名古屋大学大学院 工学研究科 准教授）、
レイト・エマニエル（名古屋大学大学院 工学研究科 講師）
(2025.02.28 公開)



TOIC Tokai Open Innovation Complex
NAGOYA



「Tokai Open Innovation Complex」完成記念式典

日時：2024年5月29日（水）10:00～12:00
会場：TOIC NAGOYA/TOIC GIFU へもオンラインで中継

産学連携オープンイノベーション拠点「Tokai Open Innovation Complex (TOIC)」の完成記念式典を執り行いました。式典には、経済産業省から川上 悟史 大学連携推進室長、文部科学省から池田 一郎 産業連携・地域振興課長をはじめ、多くの方にご出席いただきました。式典後は施設見学を行いました。



『Meet up Chubu』vol.41 先端技術 in Tokai Open Innovation Complex 名古屋サイト

日時：2024年6月13日（木）15:30～17:00
会場：TOIC NAGOYA/ オンライン
主催：中部経済産業局、共催：TOIC NAGOYA

中部経済産業局が主催する、共同研究や新事業展開に向けた連携パートナーを探索するためのイベント参加型のプラットフォーム Meet up Chubu を開催しました。東海国立大学機構の3名の登壇者からの取組み紹介や、TOIC NAGOYA の施設紹介を実施しました。



はじめまして、TOIC NAGOYA！！“新たなオープンイノベーションの形を”

日時：2024年7月22日（月）18:30～20:30
会場：TOIC NAGOYA
主催：TOIC NAGOYA

オープンイノベーションをテーマとして開催しました。TOIC NAGOYA が誕生した経緯やどのような拠点を目指していきたいか、施設の運営サポートを務める ATOMica の役割について紹介。さらに、大学・行政・企業、それぞれ異なる立場から“オープンイノベーションを創出していくには何が必要か？”をテーマにトークセッションを実施しました。



TOIC NAGOYA 入居者紹介イベント“ SUMMER TOIC ”

日時：2024年9月6日（金）18:30～21:00
会場：TOIC NAGOYA
主催：TOIC NAGOYA

TOIC NAGOYA の入居者を紹介するイベントを開催しました。入居者から、所属している会社や自身が今取り組んでいるプロジェクトの紹介、さらに他企業との取り組み事例紹介を交えつつ、行政や企業と一緒にどういった取り組みやコラボレーションができるのか、という視点からも講演、議論を行いました。



Tokai Open Innovation Complex (TOIC) とは、東海国立大学機構が強みや特色を有する研究リソースを活かし、オープンイノベーションを推進する産学融合拠点です。3つの取組み（産学交流、起業活動、共同研究）を連携して、支援することにより、企業やベンチャー、行政など多様なステークホルダーとの交流の場を創出し、新たなイノベーションの創出を実現します。

TOIC NAGOYA 新年会 ～あなたの抱負は、みんなの抱負～

日時：2025年1月16日（木）18:00～20:30

会場：TOIC NAGOYA

主催：TOIC NAGOYA

TOIC NAGOYA の入居者・利用者同士の交流を目的として実施しました。オープンしてから年末までの TOIC NAGOYA の状況を振り返り、入居者・利用者の新年の抱負を共有し、相互理解を深めました。



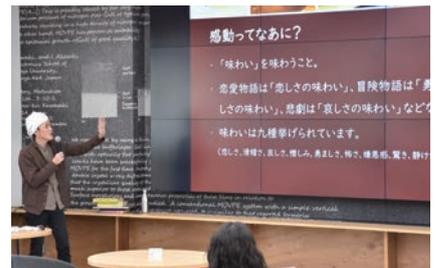
カレーなるスパイス・オブ・インサイト The “Curryful” Spice of Insight ～カレーとイノベーションの美味しい関係～

日時：2025年1月22日（水）10:30～13:00

会場：TOIC NAGOYA

主催：TOIC NAGOYA

TOIC NAGOYA の認知度向上や、研究者との気軽な交流を目的として、アカデミア × カレーをテーマとするイベントを実施しました。インド哲学研究者である人文学研究科の岩崎陽一准教授が講演を行った後、キッチンカーのカレーを食べつつ、岩崎准教授との交流を実施しました。



名古屋大学協力会イノベーションセミナー「先人の第二創業に学ぶ、新規事業開拓に向けた自社理解セミナー」

日時：2025年2月4日（日）15:00～18:00

会場：TOIC NAGOYA

主催：名古屋大学協力会、共催：TOIC NAGOYA

「新規事業企画をミッションとするチームリーダークラスの若手」を対象としたセミナーを実施しました。「第二の創業」による業態転換で事業拡大に成功した富士フイルムにて取締役 / 常務執行役員や R&D 統括本部長を歴任された、株式会社たすきづな 代表の柳原直人氏をゲストに迎え、自身の経験を踏まえた、新規事業開拓のあり方や取り組み方についての講演とワークショップを行いました。



「knots by TOIC」TOIC NAGOYA 入居者が語る産学連携

日時：2025年2月5日（水）10:30～12:30

会場：アーバンネット名古屋ネクスタビル 3F カンファレンス I Stage

主催：TOIC NAGOYA

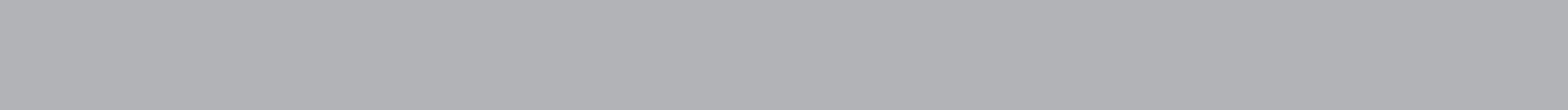
2月4日～2月6日に実施されたテクノロジーの祭典 Tech GALA にて、TOIC NAGOYA 入居者の豊田合成株式会社とグランドグリーン株式会社を迎え、出張イベントを実施しました。両社と名古屋大学との産学連携事例や最新の取り組み紹介を通して、産学連携の今と可能性について講演、その後パネルディスカッションを行いました。



産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績



産学連携セミナー等	開催日	内容
名古屋大学 COI-NEXT セキュアでユビキタな資源・エネルギー共創拠点「明日の変遷社会」 (会場：名古屋大学 / オンライン)	2024年 11月6日(水)	プロジェクトリーダーの松田 亮太郎 教授(大学院工学研究科)より、市民自らが資源・エネルギー生産に参加する社会の実現に向けた拠点の取組みを紹介し、資源・エネルギーの課題解決に挑む研究者・スタートアップ起業者 5 名らと共にパネルディスカッションを行いました。
名古屋大学発！先進的な取り組み事例 × 展望 vol.7 ～バイオエンジニアリングの最先端研究「名古屋大学量子化学イノベーション研究所」の研究成果紹介～ (方法：オンライン)	11月26日(火)	名古屋大学量子化学イノベーション研究所に所属する3名による講演を行いました。
名古屋大学 ヘルスケアスタートアップセミナー+ショーケース ～ヘルスケアイノベーションを先導する、新しい地域連携について～ (会場：STATION Ai)	12月8日(日)	医療系スタートアップに関するセミナーとスタートアップ 5 社によるショーケースを行いました。
第2回 産学官民連携ワークショップ (会場：名古屋大学)	2025年 3月6日(木)	医学系研究科主催、C-REX、未来社会創造機構、ミライバレーコンソーシアム協賛にて、生きがいやソーシャルナッジをキーワードとしてワークショップを実施しました。今後の連携活動に活かしていくべく、産学官民で計54名、7つの自治体が参加し、名大が提案するテーマを産学官民で共有しブラッシュアップを行い、より具体的な内容に落としむための議論を行いました。
展示会イベント名	開催日	内容
BioJapan2024 (会場：パシフィコ横浜)	2024年 10月9日(水)～ 10月11日(金)	医学系研究科・生命農学研究科・工学研究科教員各1名の研究についてポスター展示・プレゼンテーション、企業との面談を行いました。





名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 311
Tel:052-747-6527 Fax:052-788-6002 E-mail:outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp
<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/>